

強みを活かす体制づくりシート

- 実施方法例：①自分の強み予想ベスト3などを発表し合う
②仲間の強み予想・良いトコさがしを発表し合う
③今後はどう活用できるか話し合ってみる

『自分の強みを自分では理解できていない可能性があるのも、人に意見をもらうことも大切』
『弱点も使う場所・使い方次第で強みに変わる可能性。相対的。(逆もまた叱り)』

ポイント：ゲーム感覚で楽しんで実施・参加希望者のみ自由参加（強制は無意味・NG）

意義：「固有の強みを発揮することは、幸福感を高める」

（「幸福優位7つの法則」：ショーン・エイカー：徳間書店）

「組織の目的は人の強みを生産に結びつけ、人の弱みを中和すること」

「人のマネジメントとは、人の強みを発揮させること」

（「創造する経営者」：ピーター・ドラッカー：ダイヤモンド社）

強みを発掘する質問例：

- 「得意なことは？」「好きなことは？」「小さいころ夢中になっていたことは？」
「長く続けていることは？」「成功体験だったと思うことは？」
「自分では簡単なことなのに、人から褒められることは？」
「強みを活用する方法や場所を、今までと変えると良さそうなことは？」

強みの例

行動力 忍耐力 責任感 誠実性

勇気 熱意 親切 寛容性 感謝力 共感力 適応力

知的好奇心 学習意欲 成長意欲 達成意欲

分析的思考力 大局観 ポジティブシンキング ユーモア 柔軟性 創造力 審美眼

リーダーシップ力 チームワーク力 コミュニケーション力

記憶力 知覚推理力 処理速度

(以上はあくまで例であり、これらに縛られず、より具体的に考えてみてください)

参考文献等

- ①「24の性格診断であなたの人生を取り戻す強みの育て方」WAVE出版
ライアン・ニーミック博士 ロバート・マクグラス博士 松村亜里先生監修
VIA(Values in Action Inventory of Strength)
- ②エゴグラム診断：エリックバーン博士 (ネット上で公開されています)
- ③「ストレングスファインダー2.0」(トム・ラス 訳：古屋博子・日本経済新聞出版)